

スポーツマンシップでこの街を元気に！ 32才無所属・本人 すがわら 通信⑮



発行 すがわら文仁(ふみひと)後援会 戸田市美女木 8-21-6 討議資料



一般質問では、3つの政策提言をおこないました！



総合防災訓練で消火器の練習中！



視察で真剣に話をうかがう



年初に県内若手政治家の仲間との勉強会



先進のリサイクル工場を見学しています

すがわらふみひと

昭和50年7月30日生まれ 獅子座 A型 32歳(最年少議員)
市立美谷本小・美笹中・県立伊奈学園総合高・日本体育大学卒業
明治大学大学院 修了見込(公共政策学)
中学校・高校の教員免許取得(保健・体育)
若手政治家養成塾事務局長 埼玉坂本龍馬会幹事
【趣味】 史跡巡り 読書 音楽 B級グルメ探求
【特技】 バク転 スキー のび太並みの早寝
【好きな言葉】 為せば成る(上杉鷹山)
【夢】 努力した人が報われる社会の実現！
【家族】 父、母、妹、愛犬
【メール】 sawayaka@sugawarafumihito.com
【携帯】 090-8462-6482(24H)



すがわら文仁HP
携帯用QRコード

すがわら通信は
議会ごとにお配り
している、気軽な
新聞です。



ごあいさつ

新年、おめでとうございます。日頃より菅原文仁の市政報告にたいして、ご理解、ご支援をいただきまして、ありがとうございます。

このたび大学院(公共政策学修士課程)を3月に修了する見込みとなりました。改めて2年間あたたかい応援していただきました皆様に御礼を申し上げます。

さて、現代社会は人口減少の局面となり、これまでのさまざまな常識が通用しなくなってきている大転換の時期にきております。1980年頃から懸念されていた社会保障制度(年金、医療、介護など)の問題は、いまや待たなしの状態にあり、まさに最重要の政治課題となっています。また温室効果ガスによる地球温暖化対策についても、世界的な喫緊の課題であり、環境負荷の少ない持続可能な社会への転換が問われています。また一方、国と地方の関係においても、中央集権システムの制度疲労から「地方分権」が叫ばれ、地方分権一括法の施行から、道州制を含めた本格的な分権社会をどう創っていくのかといった、新たな問題も生まれております。

そのような流れのなかで、自治体の行政施策の重要性はますます高まっており、最終意志決定機関である議会を構成する議員の見識や政策についても、受動的なものから、能動的、主体的なものに変革していかなければなりません。戸田市をこれからも持続的に発展させて、市民満足度をさらに高めていくために、最適な公共政策を選択して、正しく執行していく必要があります。その意味で私が大学院において学んだことは、必ずや市民の皆様利益として還元できるものであると確信しております。

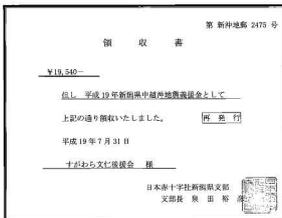
若手地方議員として今、なにをしなければいけないのか。市民の代表として、なにを主張していくべきなのか。1つ1つの課題に対して、「私心なきゆるぎない指針」のもとに、スポーツマン精神と初心を忘れずに、今年も正々堂々行動して参りますので、みなさまの「叱咤激励」をよろしくお願い申し上げます。

平成20年 新春 32才 戸田市議会議員 菅原文仁

NEWS & TOPICS

日本赤十字社から感謝状！ 中越沖地震義援金

昨年の市政報告会にて、皆様からご協力いただいた新潟県中越沖地震義援金は、¥19,540-でした。後日、日本赤十字社に義援金として送付させていただいたのですが、昨年の11月21日に、日本赤十字社新潟支部より当後援会に感謝状と領収書が送られて参りましたので、ご報告申し上げます。



日本赤十字社からの領収書



当後援会への感謝状です。被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

全国サステナブル都市に戸田市がランク・イン！ 偏差値60.2で全国3位に(日経新聞調査)

経済と環境の両立は非常に難しく、今世紀の最大の課題といってもよいと思います。持続可能な社会づくりは、政府だけではなく、1つ1つの自治体単位でも、取り組まなければならない重要、かつ喫緊の課題です。日経新聞社が独自に調査したところによると、全国782市の偏差値()に基づく総合評価ランキングでは、戸田市が3位という好成績でした。(因みに1位は三鷹市、2位が三鷹市、4位が浦安市、5位が豊田市でした。)

また、環境保全度部門では全国5位(偏差値61.6)、経済・財政部門では全国3位(偏差値69.9)ということでした。「持続可能な都市」をいかに創造し、次世代へ残すのか…環境主体の政策・戦略が求められています。

(全国782市の「環境」、「経済・財政」、「暮らし」で71項目の指標を選び算出した数値。総合評価は3分野の平均値。)

人間会議(2007夏号)より抜粋

政治を目指す若者



すがわら・ふみひと
1975年生まれ。日本体育大学を卒業後、スポーツ指導員を経て、2005年に戸田市議会議員に挑戦し、2位で当選。「若者政治家養成塾」事務局長を務める。現在、明治大学公共政策大学院に在学中。

「我が市民相談を行う「すがわら出前ミーティング」を行ったりして、市民の方々と直接ふれあえる機会を大切にしています。」

長期を見据える若い視線

埼玉原は、若手政治家が非常に多い県です。きちんと調査したわけはありませんが、日本の都道府県の中でも1、2位を争うのではないのでしょうか。

「若者政治家養成塾」を足したのも、若手が連携して我々世代の声を地方行政に届けたい、地方から日本を素晴らしい国に変えていきたいと

いう思いが根底にあるのです。これまでは官僚や行政が法律や条令を作り予算を組み立て、政治家はそれをチェックするくらいの役割しか果たしていませんでした。しかし、官僚や行政の発想ではない普通の市民の視点に立った政策立案が必要で、そういった政治家こそ、しがらみのない政治を行えるのだと思います。

私達は今、30〜50年後という長期を見据えた政策を自分たちの視線で作っていかないと考えています。次世代への借金や格差問題など課題は山積みです。

50年先はわかりませんが、少なくとも30年先までは私達は生きていますから、他人事ではなく自分自身の切実な問題として取り組んでいけません。それも若手議員の強みかもしれませんね。

「一度だけの人生、高い志と普通の視点で日本を変えていきたい」~政治を目指す若者~6頁にわたり掲載されたときの1頁です。

議会の報告 平成19年度第5回定例会(11月27日～12月14日)

11月27日～12月14日に、18日間の会期で開催された定例議会では、市長提出議案として条例案件20件、一般案件3件、補正予算案件12件の35件と、議員提出議案1件の計36件が上程され、慎重なる審議の上、議決を行ないました。

わたしが所属している総務常任委員会では、このうち付託された合計9個の議案について審査を行ないました。様々な質疑を行ない、討論の結果、議案は可決すべきものとして本会議に報告しました。委員会、本会議では、議案第100号「戸田市一般会計補正予算(第3号)」について賛成の議員を代表して討論を行ない、多くの議員からの賛同を得て、議案が可決されました。結果としては、市長提出議案の35件は原案どおり可決され、議員提出議案(日本共産党提出)の1件は否決されました。

一般質問では、「公金のクレジットカード決済」「市民ミュージカルの支援策」「スポーツ振興計画の策定」という3つの政策提言を行なって、いくつかの点で、非常に前向きな答弁を得ることができました。これからの市民サービス向上と、文化やスポーツの振興に寄与する提案ができたものと実感できる内容でした。

可決された主な議案

第78号 戸田市ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例(H20.6.1～) *新規条例*

空き缶などのポイ捨て禁止、歩行喫煙の禁止、飼い犬のフン放置の禁止、喫煙制限区域の指定等を定める新規条例です。モラルに訴えかけるという意味で「罰則規定」はありません。指定された区域(駅付近や構内など)で、歩行喫煙が制限されますので、ご理解の程よろしくお願ひいたします。6月1日から施行されます。

第81号 戸田市行政組織条例等の一部を改正する条例(H20.4.1～)

平成20年に行政組織の改正を行ない、市民のニーズに対応した行政サービスを提供できる組織に改革します。これにより、政策秘書室、財務部、こども青少年部、文化スポーツ課、防犯くらし交通課などを新設します。シンクタンク機能を充実したり、重点的な行政施策を強化するなど、協働型の行政運営に対応した組織を目指します。

第84号 戸田市特別職の職員で非常勤の者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
市議会議員が議員活動の一環として特別職の委員になる場合に、委員報酬と費用弁償を支払わない(法令で規定される監査委員、農業委員は除く)ようにする改正です。これにより、年間約178万円の経費が縮減されます。

第91号 戸田市国民健康保険条例の一部を改正(H20.4.1～)

来年度以降、これまで3才までであった医療費患者負担軽減措置(10分の3負担のところ10分の2負担に軽減される)が6才にまで拡大します。そして、これまで10分の1であった70才以降の負担率を10分の2に引き上げることとする改正です。国民健康保険における医療費の増大は深刻であり、「入り」と「出」の差から支払われる一般会計からの繰入金(足りない分の補充金)は今年度、約13億8000万円にのぼります。財源との兼ね合いにより、他の市町村でも、現状同じような現状です。国における抜本的な医療制度を含めた改革が望まれるところですが、現在の制度における適正な改正ですので、ご理解をお願いいたします。

すがわらの討論 議案第100号「戸田市一般会計補正予算(第3号)」

(討論の結果、賛成21人反対4人であり、議案第100号は可決されました。)

議案第100号戸田市一般会計補正予算について賛成の立場から討論します。都市開発基金積立金の5億円は、3つの理由から適正であると判断します。継続性ある活用がなされており、機能している基金であること(中略) 全体的にみても、適正な比率で推移しており、福祉、市民サービスとのバランスが取れていること(中略) これからも都市開発、社会基盤整備が必要であること。(中略)であります。

これからさらに住みやすい「まちづくり」をするためにも、計画的な都市開発と財政運営は、市民の福祉向上、生活向上に伝えるものであり、必要であるといえます。以上、賛成理由を述べて、議案第100号の賛成討論といたします。(平成会 すがわら文仁)

都市開発基金とは、おもに社会基盤整備(主に、道路、河川、橋、区画整理事業)などのインフラ整備関連事業に要する経費の財源に充てる市の貯金です。今回5億円の積み立てをして、基金の残高は約20億3千万円となりましたが、残高の推移をみると、平成15年度末は18億5千万円、16年度末は14億5千万円、17年度末は17億2千万円、18年度末は17億3千万円となっています。これまで不足財源を確保してきた実績があり、継続的に活用されている基金です。この基金がないと、区画整理事業などが滞ってしまう恐れがあるばかりではなく、災害時の都市整備や減収に備えられないという最悪の事態も想定されます。

「共に成長するボランティア」と「健全なカンパ」のお願い

すがわら文仁は、地盤、看板、カバンなしのゼロから政治活動をはじめました。毎回、政治の説明責任として市政レポートや自分の主張をするため「すがわら通信」を印刷しておりますが、メンバー不足&資金不足が続いています。一緒に活動し、成長するボランティアと同時に、健全なカンパを募集中です。まじめな政治活動をサポートしていただくご支援、よろしくお願ひいたします。(カンパは、1口 1円～！)

連絡先 sawayaka@sugawarafumihito.com

巣鴨信用金庫 西浦和支店 普通口座 3113812 スガワラフミヒト コウエンカイ

12月議会 すがわら文仁の一般質問(口語バージョン)

一般質問とは、市政に関することであれば、どんな内容でも本会議場にて議論ができる質問&政策提言の時間(35分)です。皆さんの声を議会に反映したいと思いますので、提案したい事など、ご意見がございましたらご相談下さい。(提案内容によっては、ご相談に添えない場合もあります)

質問 (公金のクレジットカード決済を導入してはどうか)

すがわらの質問 [すがわら] 本市の税等の収納率向上に対する取り組みで、コンビニ収納については大変好評をいただいています。昨年十一月に自治法が改正されて、公金を支払う際に、クレジット決済が可能になりました。これを導入すれば、納税者のメリットとして 支払いチャンネルが増えることで支払いの確実性が補完される。カード会社の提案する支払い方式(たとえばポ払いなど)が選択出来る。市の滞納整理事務の簡素化やコストの低減が期待されます。全国的には、まだ数例しか導入されていないのですが、さらなる滞納整理や納税者の利便性向上の観点からも、先進的にクレジットカードによる公金の収納サービスに取り組んではどうでしょうか？

市民生活部長の答弁 現在県内で導入している自治体はありません。初期導入費や手数料の問題がありますが、全庁的な課題としてこれから議論して、費用対効果を見極めて研究していきます。

すがわらの再質問 視察にうかがった、三重県玉城町などの先進地の初期導入コストは、本市の予算規模などを勘案して比較しても少額のようでした。本市の概算コストはどのくらいになるのでしょうか？

市民生活部長の答弁 約550万円です。しかし、最も重要な問題は、多額の手数料負担であると認識しております。

すがわらの要望 あるシンクタンクの研究によると、都市近郊型自治体のコストシュミレーションでは、「コスト減」との研究結果もあるようです。この資料はあとでお渡ししますが、ぜひ、導入に向けて研究調査することを要望いたします。

質問 (好評であった「市民ミュージカル」をサポートして、文化芸術を豊かに)

すがわらの質問 市民ミュージカル「ザ・リバー」の再公演が行われました。一流の演出により市民が素晴らしい舞台芸術を表現しており大変感動しました。心配された席もほぼ満席だったようです。戸田市を豊かな文化芸術都市にするためにも、市のサポートを継続していくことが必要と考えますが、いかがでしょうか？

総務部長の答弁 今後においても、補助金による支援を継続するとともに、稽古のための公共施設の確保や、さまざまな啓発の支援を行いたいと思います。また20年度を目標に「市民ミュージカル劇団」を結成して、毎年発表の場を設けることもサポートしていきたいと思います。

すがわらの要望 来年度より所管部署が「文化スポーツ課」となり、市の組織上で初めて「文化」という名前がつく予定です。これを契機にして、より発展した文化行政を担うビジョンを示すためにも、「文化振興基本条例」や「文化振興基本計画」を策定して、文化芸術のより豊かな振興を進めることを要望いたします。

質問 (スポーツ基本計画策定を再度行ない市のビジョンを示しては)

すがわらの質問 戸田市は生涯スポーツ都市宣言のまちとして、これまで市民のスポーツ振興策について、様々な取り組みをしていただいているとおもいます。また、人口に対す施設の充実度という点でも、都市近郊の他市と比較しても非常に高いポテンシャルを秘めていると思います。それを活かすには、政策評価、行政マネジメントシステムにのせて行く必要があると思いますし、ベンチマークキング(目標値)を定めた総合的な見地で、施設やクラブ、人材、競技者、環境などを再構築して、振興計画を立てることが必要なのではないかと思います。しかし行政評価シートによれば、平成19年までに行なうこととされている「スポーツ振興計画策定事業」がほとんど達成されないままに停止、終了となっております。健康政策としてのビジョンを示す意味でも、やはり事業として再び取り組むことが重要と考えますがいかがでしょうか？

教育部長の答弁 基本的な道しるべとして、スポーツ振興基本計画の策定が求められております。市といたしましても平成16年より市民各層の代表によるスポーツ振興審議会を発足して、議論を重ねて幅広い意見を求めております。また、平成18年に行なわれた市民アンケートの意見を参考にして、スポーツ振興のバイブル的な指針としての研究をして参りました。今後は国、県の計画を踏まえ、戸田市独自の「スポーツ振興基本計画」を策定して参りたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

菅原の要望 スポーツ振興政策こそ、横断的な総合行政政策の最たるものであると思います。ビジョンや目標に基づいたスポーツ振興政策を実践するためにも、早い段階で計画の策定をして、実行していただければと思います。

「すがわら出張ミーティング」随時開催中！！

要請があれば、いつでもどこでも伺います！市政のこと、行政のこと、スポーツのこと。ジャンルは問わず、何でも結構です。みなさんの思いを菅原にぶつけてください。すがわら文仁と一緒に考えて、一緒に行動します。

メールアドレス sawayaka@sugawarafumihito.com

